

安全保障戦略研究

第6巻 第2号 2026年3月

目次

経済的脅威が日本人の政治形態選好に与える影響 ——民主主義支持と権威主義支持における「政治への関心」の媒介効果——	1 寺田 孝史
「作戦術」とは何か ——戦略と戦術の媒介の意味の多義性——	21 齋藤 大介
太平洋戦争期の日本政府及び軍における民間航空の活用	41 工藤 信弥
第二次世界大戦期ポルトガルにおける情報戦 ——日本公使館・駐在陸軍武官によるアメリカ情報を中心に——	63 清水 亮太郎
米海兵隊における水陸両用作戦の現代化を巡る苦悩 ——強襲を第一とするドクトリンの限界——	85 佐武 直樹
ウクライナ戦争における航空戦の新たな様相 ——欧州諸国の航空戦力の現状と課題を中心に——	105 小川 康祐
EUの軍事機動性の発展 ——NATO・欧州各国との関係を踏まえて——	123 田中 亮佑
フィリピンの国家安全保障戦略 ——策定開始の動機と3政権にわたる国家安全保障の論理——	145 辻田 友規
習近平政権の台湾政策における「法的アプローチ」 ——法的アプローチを推進する背景の論理とその機能——	165 後藤 洋平
北朝鮮の強制戦略 ——標的の国内政治に累積する効果——	185 渡邊 武
昭和戦時期における海軍省課長級の動向の解明 ——新史料・大石保兵備局第1課長の日記を用いて——	203 山口 昌也
越境サイバー行動により生じる主権侵害の評価基準 ——政策的必要性から導かれる二元的理解の修正可能性——	225 山口 章浩
海上法執行（MLE）としての「実力の行使」と国際法上の「武力の行使」の相違 ——海上警察機関の「実力の行使」が武力行使禁止原則違反となり得る要件——	247 永福 誠也
英文要旨（Summaries in English）	269
編集後記・投稿のご案内	

